

第4回定例会発言要旨

内容	発言者	発言要旨
・目次について	伊藤委員	目次の参考資料2が「第29期」ではなく「第28期」となっている。
・チャットボット及びチャットによるレファレンスについて	小田議長	グループ1(1)の項目名「チャットボット及びチャット等によるレファレンス」の「等」は不要ではないか。ここでは、チャットボットとチャット以外の話は読み取れない。
	結城委員	専門図書館は、利用者の働き方の変化もあり、利用者数が減少している。利用者数の増加のため、非来館型のサービス、特にレファレンスを強化する必要があると考えている。最近の若い方は電話を嫌い、メールで質問を寄せてくることが多いが、メールのやり取りだとまどろっこしいので、チャットによるレファレンスを検討している。チャットのような新しい技術の導入に関しては、組織からなかなかイエスと言われないので、都立中央図書館が実績を上げて多くの事例を出してくれると、他の図書館も導入しやすくなると思う。
	高口委員	令和2年12月から実証実験が進められていると思うが、この提言の中で実証実験について直接的な言及は行われるのか。
・脚注について	伊藤委員	脚注15の文章が途切れて（次ページに渡ってしまっ）ている。
・二次元コード等を用いたサービスについて	高口委員	「ウ サービス概要」の最初の段落に「将来的にはOPACの検索後、利用者を書架まで誘導することも考えられる。」とあるが、単に利用者の利便性向上だけでなく、「職員と利用者の接触を低減することができる」というように、新型コロナウイルスとの関連性を持たせた記述にするとよい。
・「ウィキペディアタウン」について	江草委員	①「図書館作成の『ウィキペディアタウン』にリンクを張る」という記述が不正確である。ウィキペディアタウンは「ウィキペディアタウンという街そのもの」と「イベント」の二つの意味がある。「図書館作成の」という記述がよくない。 ②脚注の「『ウィキペディアタウン』とは、地域にある文化財・観光名所などの情報を『ウィキペディア』に掲載したものを指す」という記述も定義が違う。
・「ウィキペディアタウン」について	小田議長	図書館が行う「ウィキペディアタウン」（イベント）は、「参加者が、図書館の所蔵資料を基に記事を書く」ということが前提であるなら、少し言葉を添えたほうがいい。
・図の統一について	鳥屋尾委員	図9以降、「データ」の塊が円柱で表されているが、図によって円柱の色が黒だったり白だったりする。この色に意味があるのか。特に意味がなければ、見やすく統一したほうがいい。
・電子書籍サービスについて	鳥屋尾委員	「（前略）都立高校に提供することが考えられる。その場合は、館外への貸出しも期待したい。」とあるが、できれば「（前略）都立高校に提供することが考えられる。提供された電子書籍が都内自治体や都立高校で一層活用されることを期待したい。」というような記述を入れてほしい。 そのほうが、この提言を読んだ学校関係者が具体的にイメージしやすい。
	岡田委員	p.19の22行目では「離島をはじめとした都内自治体」としていた表現が、同ページの図10では「島嶼」という表現に変わっている。表現を統一したほうがいい。
	岡田委員	電子書籍提供の対象に、区市町村の公立小中学校は含まれないのか。また、島しよに限らず、西多摩の奥の自治体も提供の対象となるよう検討してほしい。

内容	発言者	発言要旨
・「外国語資料総合データベース」について	高口委員	当初、訪日外国人観光客の利用を想定したのと思うが、現在の新型コロナウイルスの感染状況を考えると、日本滞在が意図せず長期化した外国人や海外留学できなくなった日本人が、日本語以外の資料を利用するという意味においても、本データベースを整備する有効性があると考えます。